

開講期	2026年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	1213 イメージの歴史			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	水曜2限				
教室	D204教室				
代表教員	君島 彩子				
担当教員	君島 彩子				
テーマと到達目標	本講義は、人類が世界を理解し意味づけるために生み出してきた「イメージ」の歴史を、宗教・神話・文化・社会との関わりから考える。美術史や文字資料中心の歴史ではなく、樹木や動物、神や怪異、建築や記号といったイメージが、目に見えない考えや力をどのように形にしてきたかを扱う。多様なイメージを比較し、人類に共通する発想と文化ごとの違いを読み解き、現代の映像やデザインを歴史的に考える力を養う。				
概要	視覚イメージは、言語以上に直感的に思考や感情を伝え、私たちの認識や行動に大きな影響を与えている。一方で、意味を厳密に説明する点では言語とは異なる特性をもつ。本講義では、「イメージとは何か?」という問いを出発点に、太陽と月、聖なる植物、女神や観音、幻獣や神獣、鬼や悪魔、病と死、建築や記号などを通して、人類が世界を理解するために用いてきたイメージの歴史をたどる。多様な事例を比較することで、イメージが不可解な事象に意味を与え、世界観や社会秩序を支えてきたこと、そして時代とともに再解釈され続ける存在であることを明らかにし、現代の視覚文化を読み解く視点を養う。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員 (複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	イメージとは何か? — 世界を理解し、不可視のものを可視化するイメージの歴史				対面授業
第2回	光と闇 — 知と恐怖を分ける光と闇のイメージの歴史				対面授業
第3回	太陽と月 — 時間・秩序・循環を象徴する天体イメージの歴史				対面授業
第4回	聖なる樹木と花 — 生命・聖性・世界軸を象徴する植物イメージの歴史				対面授業
第5回	女神と聖母 — 慈愛・豊穡・畏怖を体現する女性神格のイメージの歴史				対面授業
第6回	有翼の人身 — 飛翔と超越を人間的身体で表したイメージの歴史				対面授業
第7回	幻獣と神獣 — 博物学的想像力が生んだ知のイメージの歴史				対面授業
第8回	悪魔と鬼 — 秩序の外部と恐怖を可視化する異形のイメージの歴史				対面授業
第9回	病と死 — 不可避の恐怖と生の限界を表象するイメージの歴史				対面授業
第10回	聖なる鳥 — 魂・王権・超越を象徴する神鳥のイメージの歴史				対面授業
第11回	蛇とドラゴン — 混沌・再生・権力を体現する爬虫類的イメージの歴史				対面授業
第12回	ライオンと狼 — 権力と野性を映し出す猛獣イメージの歴史				対面授業
第13回	スワスティカ — 古代の吉祥的世界、現代の禁忌をたどるイメージの歴史				対面授業
第14回	仏塔と鳥居 — 境界と信仰を示す宗教建築イメージの歴史				対面授業
第15回	神話・宗教・社会 — 神話から現代社会まで繰り返し変奏されるイメージの歴史				対面授業
成績評価の基準	授業中におこなうテスト及び提出課題、授業態度から総合的に評価。				
履修にあたっての留意事項	本授業では多くのスライドを使用します。講義中は画面の図解やイメージを確認しながら、「話を聞くこと」に集中してください。スライド内の文字情報は授業後に共有します。授業中にすべてを書き写そうとせず、復習の際に改めて内容を確認することを推奨します。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	各テーマごとの参考文献は講義内で示します。		
教科書		教科書(ISBN)	
参考文献	若桑みどり『イメージの歴史』	参考文献(ISBN)	4480094326

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること
--------------------	--